

第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画と自立支援協議会 各委員会・部会等との連動

諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 (令和4.3.9)

成 果 目 標		基準となる数値 目標値・目標内容	現在検討している 委員会・部会	内 容	今 後 の 協 議
①	施設入所者の 地域生活への移行	施設入所者の地域生活への移行者数	地域生活支援部会	・令和3年度地域生活支援部会の事業計画の中では、部会発のWGを開催予定だったが、実施に至っていない。	・他の部会等での協議になっていかないようであれば、次年度地域生活支援部会として「施設入所支援から地域生活への移行状況を調査し、地域での生活を誰もが安心してできるために必要な資源について」を検討していきたい。
		施設入所者の減少数			
②	精神障害にも対応した地域 包括ケアシステムの構築		(精神障害者ネットワーク会議) 精神障がい者の暮らし を考える部会		(令和4年度に部会化の予定)
③	地域生活支援拠点等 が有する機能の充実	整備数1箇所 運用状況の検証等 年4回	拠点整備の検討会	・諏訪圏域地域生活支援拠点等事業実施要領の確認 ・登録事業所認定手順フローの作成 ・登録事業所認定基準についての検討 ・地域生活支援部会との連携、生活介護事業における課題調査の分析 ・体験の場の活用についての検討	・諏訪地域生活支援拠点等事業実施要領の見直し ・登録事業所認定基準についての検討 ・生活介護事業所における課題調査の検討の場の設置 ・体験の場の活用についてのニーズ調査 ・専門性のある人材育成についての検討
			地域生活支援部会	・地域生活支援部会にて、生活介護のサービスの利用状況の実態調査を行った。また、強度行動障害の利用者さんの受け入れ状況や、今後の受け入れ態勢についても調査を行った。	・生活介護事業所が定期的に集まり、情報の共有・課題の検討ができる環境を構築していく。
④	福祉施設から一般就労 への移行等	福祉施設から一般就労への移行者数	就労支援部会	○就労アセスメントの検討 ⇒ 就労アセスメントの改定(令和4年4月から運用) ・就労アセスメントの流れ ・通所困難者にかかる就労アセスメントについて ・就労アセスメント結果票(厚労省版) ・事例シート ○「働く」についてのアンケートの実施 ○第1回座談会開催	○今年度は『福祉施設から一般就労への移行等』の目指す方向性の確認(アンケートの実施)と課題を共有し、討議・検討する。 ○福祉的就労と一般就労の連携と情報共有のためのネットワーク作り(就労支援機関の資源票作成など)
		就労移行支援から一般就労への移行者数			
		就労継続支援A型から一般就労への移行者数			
		就労継続支援B型から一般就労への移行者数			
		就労移行支援等から一般就労移行者のうち就労定着支援の利用者と割合			
		就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所数と割合			
⑤	障がい児支援の 提供体制の整備等	児童発達支援センターの設置	療育支援部会	・「保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携に関する調査」を実施、考察を行った ①保護者の理解(受容)連携課題 ②職員数不足 ③特Coの専任化・複数配置 ④個別の支援計画 ⑤支援会議の企画運営の負担 ⑥医療機関不足 ⑦相談窓口が分かりにくい	(1) 児から者(18歳)への切れ目ない支援体制(絶壁) (2) 強度行動障害児者の受入(放デイ、緊急時空床等) (3) 療育等連携支援体制整備 ① 保育所等訪問支援事業の受入(環境整備) ② 家庭支援・親の養育支援(療Coミニ講座) (「お子様と召使的親」関係に陥らない為にも) ③ 放デイの療育支援力向上(放デイ連絡会と協議会) ④ 行きしぶり・不登校 (4) Web会議やHP等を活用した情報共有への対応
		保育所等訪問支援を利用できる体制を構築			

		主に重症心身障がい児を支援する 児童発達支援事業所の確保	既存施設を活用し体制を強化	医療的ケア児部会	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪圏域医ケア児等実態調査の実施、報告 ・地域支援資源アンケートの実施、報告 ・医ケア児者の災害時における対応についての勉強会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等Coの役割と体制作り ・諏訪圏域で行った実態調査と地域支援資源アンケートからみえた課題に向けての取り組み（研修など） ・医ケア児者の災害時における対応について
		主に重症心身障がい児を支援する 放課後等デイサービス事業所の確保	既存施設を活用し体制を強化			
		医療的ケア児等支援のための協議の 場の設置とコーディネーターの設置	圏域単位で設置 コーディネーター1名			
⑥	相談支援体制の充実・強化等		圏域を単位に体制を確保	相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・R.3障害福祉サービス等報酬改定（相談支援）の勉強会 ・ストレンクスモデルによるGSV事例検討会 ・個別避難計画について6市町村の取組状況の共有 研修「災害時福祉支援の実践から」 研修「まちの減災ナースちの～福祉避難所での支援～」 ・モニタリングの効果～頻度と課題について～ ・相談支援専門員から見た地域課題について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の収集と検証を行う ・相談支援体制の充実・強化のための研修会
				人材育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「主任相談支援専門員の研修受講と役割について」作成 ・「諏訪圏域障がい福祉人材育成ビジョン」の作成 人材育成システムの構成メンバーと役割、県研修と連動した圏域研修の仕組みをまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪圏域の人材育成のための行動計画を協議する ・サポマネの役割、検討
				地域生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災W⇒災害時情報支援シートの検討、作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時情報シートについては活用事例増の取り組み、活用状況について振り返りを予定している。
				主任相談支援専門員 連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・主任相談支援専門員の役割について ・地域の課題について 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成について ・地域を変えていくための仕掛けづくり
⑦	障がい福祉サービス等の 質の向上のための取組 に係る体制の構築			地域生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護利用状況について、事業所への聞き取り調査 ・GHサビ管連絡会；オンラインGH見学会 ・防災に関する講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪圏域では、企業からGH事業への参画が多いので、部会主導で情報共有の場を今後も継続して作っていく。 ・防災に関する取り組みは、部会の枠を出て協議できる場の構築が必要になると思われる。 ・公共交通機関減免時の手帳に変わる確認方法についての検討
				権利擁護委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における障がい者に対する虐待の防止にする研修の実施支援策の検討 ・障がい者差別解消支援地域協議会の立ち上げ及び活用 ・福祉施設利用者の権利擁護の推進に向けた取り組みの検討 	